

南っ子のあたりまえ

くまもと家庭教育10か条 第5条

たえる心

ねばり強く、
最後までがんばろう

わたしにとって、1つ
1つの小さな我慢の
積み重ねが、生きてい
く糧になっています



肥後っ子の
明日を支えるがまん力

我慢する力

今の子どもたちは、つらいことに耐える力が不足していると言われています。世の中が便利で豊かな時代になり、それまでは我慢するしかなかった事を、我慢しなくて済むようになりました。もちろん、生活が便利で豊かになることは良いことですが、時には我慢することも、人間として大切なことだと思います。

そこで、あなたの我慢に対する力をチェックしてみませんか。（ある資料から引用しました。子どもに尋ねる時には、お父さんお母さんのことばで尋ねてください。）

Q1 暑いときは「暑い」、寒いときは「寒い」と何度も口に出してしまう方です。

Q2 しかられるときは、自分が悪いと思っていても、しかられることに腹が立つ方です。

Q3 嫌いなものは、無理をして食べなくてもかまわないと思う方です。

Q4 学校まで家の人に送り迎えをしてもらうことは、悪いことではないと思います。

Q5 細かい作業や根気が必要な作業などは、積極的に取り組まない方です。

Q6 欲しいものがあると、本当に必要かどうか考えず、すぐを買ってしまう方です。

Q7 苦しさやきびしさにうち勝った人の話を聞いても、あまり感動しません。

Q8 きびしい練習が必要なことよりも、楽しく練習ができることの方に取り組みたいです。

Q9 1日を振り返って、自分自身が我慢をしていることが思い当たりません。

Q10 我慢してよかった、苦しさに耐えてよかったという体験をしたことがありません。

1問1点として、合計点を出してみましょう。

0～2点の人……我慢する力が十分あるものと思われます。

3～5点の人……我慢する力が少し足りない面もありますが、ふだんの生活の中で、いろいろと反省していけば、たくましく生きていけるでしょう。

6点以上の人……精神的なたくましさをもっと必要だと思います。自分をもう少しじめてみましょう。新しい自分の力が発見できるはずです。

いかがでしたか、あなたの我慢する力は？

豊かな時代だからこそ、将来くじけそうになったとき、苦しくなったとき、

苦しさに耐える力が必要となってくるはずです。

しかし、次の場合は、あまり我慢する必要はありません

- ・ 体の調子が悪いのに我慢する。
- ・ 深刻に悩んでいるのに一人で解決しようとする。
- ・ 明らかに苦しさに耐えられないのにやせ我慢をしてしまう。

子どものようすをしっかりと見守ってあげてください。

